

(別紙⑤)

「総務省自治大学校施設の管理・運營業務」を実施する者を
決定するための評価の基準等

本業務を実施する者（以下「落札者」という。）の決定は、総合評価方式によるものと
し、評価の詳細等は以下のとおりである。

1 落札者決定にあたっての質の評価項目の設定

落札者を決定するための評価は、提出された企画書の内容が、本業務の目的・趣旨に
沿って実行可能なものであるか（必須項目審査）、また、効果的なものであるか（加点
項目審査）について行うものとする。

(1) 必須項目審査

必須項目審査においては、入札参加者が企画書に記載した内容が、次の必須項目を
満たしていることを確認する。全て満たした場合は基礎点（100点）を付与し、1
つでも満たしていない場合は失格とする。

ア 実施体制

- ・各業務の業務水準が維持される体制であること。
- ・提案された内容が実現可能な体制であること。
- ・グループで参加する場合、代表企業とグループ企業の連携が可能な体制であること。

イ 業務に対する認識

管理・運營業務の目的を理解し、計画的な業務の実施が考えられているか。

ウ 現行基準レベルの質の確保

各業務の提案内容は、要求水準が確保されるものとなっているか。

(2) 加点項目審査

必須項目審査で合格した入札参加者に対して、次の加点項目について審査を行う。
なお、提案内容については、具体的でありかつ効果的な実施が期待されるかという観
点から、基本的には、仕様書等と提案内容との比較を行い、評価に応じ評価基準に示
す点数を付与する。

ア 業務の質についての提案内容（160点）

質の維持・向上に対して具体的な提案があり、実施について具体的な方法、計
画等が明記されているか。また、それらが実施可能な体制が確保されているか。

イ 緊急時への対応について考え方・体制（20点）

具体的な事態を想定し、現実的かつ効果的な対策が提案されているか。

2 加点項目の評価基準（絶対評価）

評価基準	得点
非常に優れている	配点の 100 %
特に優れている	配点の 80 %
優れている	配点の 60 %
標準的	配点の 40 %
あまり期待できない	配点の 20 %
記載なし、全く期待できない	配点の 0 %

3 落札者決定にあたっての評価方法

（1）落札者の決定方法

落札者の決定は、除算方式により行う。

必須項目審査により得られた基礎点（１００点）と加点項目審査で得られた加算点を加算し、入札価格（予定価格の制限の範囲内であるものに限る。）で除して得た値を総合評価点とし、入札参加者中で最も高い値の者を落札者として決定する。

総合評価点＝（基礎点（１００点）＋加算項目審査による加算点）÷入札価格